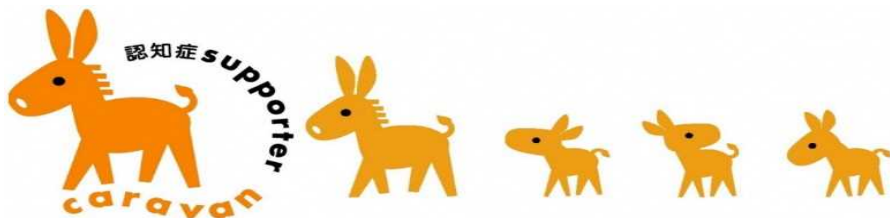




# 認知症サポーター養成講座の概要 について

沖縄県子ども生活福祉部  
高齢者福祉介護課



1

## 認知症サポーター養成講座の対象者

### ①住民

住民組織(自治会、集合住宅管理組合、老人クラブ、子ども会など)、民生委員児童委員、防災・防犯組織、介護者の会等の当事者組織、ボランティア団体など

### ②職域

企業・団体(商工会議所、同業者組合、銀行等の金融機関、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、宅配業、タクシー業等)、公共サービス機関(行政サービス全般、警察、郵便局、消防等)、公共交通機関など

### ③学校

小・中・高生徒、教職員、PTAなど

※介護サービス事業者がその従事者に対して実施する研修(職員研修等)は、認知症サポーター養成講座として位置づけることはできない。

## 2 認知症サポーター養成講座の実際

### ● 認知症サポーター養成講座の概要

項目	概要
研修内容	基本カリキュラム(次ページ)に沿った内容により実施する。 ※必要に応じ、自治体に全国キャラバン・メイト連絡協議会から配布するビデオ(15分)を使用することも可。
時間	時間は、おおむね90分程度を目安とする。 ※成人の場合、高齢者のみのグループである等受講対象者が90分の講座を受けることが難しい場合に限って、60分以上で構成することも可。 ※小中学校の授業で実施する場合は、授業の1コマ(45分または50分)で行うことができる。
教材	(一般用) 認知症サポーター養成講座標準教材「認知症を学び地域で支えよう」  (学校用) 認知症サポーター養成講座 小学生副読本、中学生副読本  ※教材は、事務局から配布される。 ※標準教材に加え、独自の教材を補助的に使用することも可。
認知症サポーターの証	原則、講座実施主体が準備する「認知症サポーターカード」等が配布される。
受講費	原則、無料とする。

## ●認知症サポーター養成講座 基本カリキュラム（標準時間90分）

基本となる内容	標準時間
<p>●認知症サポーターキャラバンとは</p>	15分
<p>●認知症を理解する（1）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 認知症とはどういうものか</li> <li>2 認知症の症状</li> <li>3 中核症状               <ul style="list-style-type: none"> <li>症状1 記憶障害</li> <li>症状2 見当識障害</li> <li>症状3 理解・判断力の障害</li> <li>症状4 実行機能障害</li> <li>症状5 感情表現の変化</li> </ul> </li> <li>4 行動・心理症状（BPSD）とその支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>元気がなくなり、引っ込み思案になることがある</li> <li>身のまわりのことに支障が起こってくる</li> <li>周辺の人が疲弊する精神症状</li> <li>行動障害への理解</li> </ul> </li> </ol>	30分
<p>●認知症を理解する（2）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 認知症の診断・治療               <ul style="list-style-type: none"> <li>早期診断、早期治療が大事なわけ</li> <li>認知症の治療</li> <li>認知症の経過と専門家との関係</li> <li>成年後見制度／地域福祉権利擁護事業</li> </ul> </li> <li>6 認知症の予防についての考え方</li> <li>7 認知症の人と接するときの心がまえ</li> <li>8 認知症介護をしている人の気持ちを理解する</li> </ol>	30分
<p>●認知症サポーターとは</p> <p>●認知症サポーターのできること</p>	15分